

地域と企業が守り続ける水源の森

TOTOと地域が連携した、どんぐりの木の植樹活動が6月16日に弁城の奥池公園で行われました。福智町から広がった環境保全効果の高いこの事業に今年も社員や家族約70人が参加し、約2時間で苗木周辺の除草を完了。作業を終えた参加者には特産品や料理が振る舞われ、地域との交友を温めていました。



↑当初小さな苗木だったどんぐりの木は、約10年の歳月で豊かな森に成長。

↓蛍が活発に動く午後8時半、上野の福智川沿いを舞う光に人々は魅了される。



町内の清流にゲンジボタルが舞う連夜 蛍が魅せる年に一度の光の共演

町内に生息する蛍は例年より1週間ほど早い5月下旬に見頃を迎え、訪れた見物客を幻想的な世界へとご案内しました。「おしりのラインが1本光るのが雌、2本光るのが雄」と説明する地元の人にも触れ、蛍観賞もより充実。寿命は1週間と短い蛍ですが、限られた命の中、光続ける様子に鑑賞客も心打たれていました。

↓左からバドミントンの稲垣さん、松永さん、中村さん、水泳の梶原さん、谷川さん。



田川郡社会体育振興協会功労者表彰 2つの競技の優勝たたえ郡が表彰

水泳競技の梶原信子さんと町内のバドミントンチームによる福岡県民体育大会でのダブル優勝がたたえられ、5月23日に田川郡社会体育振興協会から功労者表彰を受けました。66歳の現役選手である梶原さんは5年連続、バドミントンチームは5年ぶりの表彰。これを励みに、さらに上の結果を求める決意を新たにしていました。

金田小6年生録音の防災無線放送開始 児童の呼びかけでより安心なまちづくり

登下校時や放課後の児童に注意を促すため6月20日から金田小6年生が読む防災無線の放送が始まりました。早めの帰宅や地域の見守りを呼びかける内容を放送委員4人が録音。15時と17時50分に放送中で、委員長の畠中唯人くんは「多くの人に聞いてもらうことで事故や事件が減ってほしい」と期待を込めました。



↑慣れない役場での録音に戸惑いながらも、丁寧な発音で文章を読む4人。

↓陶片も展示された会場で、嶋野町長と壬生直方市長も興味深く耳を傾けたフォーラムでの討論会。



桃山茶陶フォーラム「上野焼」 上野焼の魅力と謎に迫る

上野焼の魅力を探る桃山茶陶研究会主催のフォーラムが6月2日に「ふくちのち」で開かれました。県教委の岸本圭学芸員が「上野焼の魅力と謎」と題して講演し、同研究会の小山巨事務局長と西日本新聞社の西村隆幸筑豊総局長を交えて討論。「区別のつかない器が古上野だと確定できる調査研究が不可欠」と、今後の古窯跡などの調査への期待が寄せられました。

町内3中学校体育会 キラリと光った生徒たちと大粒の汗

晴天に恵まれた5月27日、町内3つの中学校で体育会が開催され、青春の汗が額に輝きました。何ヶ月もかけて練習した応援合戦やダンス、棒体操の演技後は観客席からの大歓声に包まれた校庭。リーダーシップや団結力が不可欠となる体育会を通して、上級生も下級生も多くを学び、また一つたくましく成長した様子でした。



↑方城中のブロック対抗校歌合戦で肩を組んで歌う生徒たちの眩しい笑顔。

↓嶋野町長から勲章と勲記を受け取るすぎはら歯科医院の杉原瑛治先生。



春の叙勲で杉原瑛治先生に瑞宝双光章 歯磨きで健康教育続けた功績たたえて

半世紀近く学校歯科医師として地域医療に貢献してきた杉原瑛治先生（伊方）が瑞宝双光章を受章しました。5月18日に伝達式が行われ、「歯磨き教育を通じて子どもたちに健康の大切さを伝え、受章を励みにこの地でもっと恩返しをしていきたい」とやさしい眼差しで受章の喜びと今後の決意を語りました。